

# 分析結果報告書

報告書No. NP 110035

2011年 6月 27日

株式会社 恵 殿

貴、ご依頼の試料についての  
分析結果をご報告申し上げます。

計量証明事業所大阪府第 10124号  
飲料水水質検査業登録大阪府18水第8-10号  
厚生労働大臣登録水質検査機関第159号

株式会社 総合水研究所

〒590-0984 堺市堺区神南辺町1丁4番地6  
Tel 072-224-3532 Fax 072-224-3257

環境計量士 三浦 哲也



(試験年月日) 2011年4月20日～6月11日

(試験対象品) 連続式浄水器 (バナジウムタイプ)

(試験目的) JIS S 3201:2010「家庭用浄水器試験方法」  
連続式浄水器の方法によって、試験対象品の遊離残留塩素ろ過能力試験を実施する。

(試験概要) 試料水濃度調整 : 遊離残留塩素濃度  $2.0 \pm 0.2$  mg/L (水温  $20^\circ\text{C} \pm 3^\circ\text{C}$ )  
通水流量 : ろ過流量を4.0L/minに維持して継続通水  
ろ過水量 : 300,000Lまで通水を継続  
また、ろ過水及び試料水の測定値から除去率を算出した。  
採水 : 通水開始後10分後及びろ過水量300,000Lまで適宜毎に採水。  
除去率 : 相対する試料水及びろ過水の濃度分析値から算出\*

(分析方法) JIS S 3201:2010附属書A(遊離残留塩素測定方法)  
DPD比色法により測定

(試験結果) 結果を別紙に示す。

試験条件 : 室温:  $20 \pm 15^\circ\text{C}$  湿度:  $65 \pm 20\%$  試料水温:  $20 \pm 3^\circ\text{C}$